

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回 小金井市地下水保全会議
事 務 局	環境部環境政策課環境係
開 催 日 時	平成21年11月27日(金) 午後3:00~5:00
開 催 場 所	旧消防署暫定第八会議室
出 席 者	別紙のとおり
傍 聴 の 可 否	○可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍 聴 者 数	3名
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 前回の会議録の確認について(資料1) (2) ボーリング調査データについて(資料2) (3) 水質監視測定及び湧水調査について(資料3) (4) その他 3 次回の地下水保全会議の日程について 4 現地視察 (仮称)中町4丁目緑地
会 議 結 果	別紙のとおり
発言内容・発言者名 (主な発言要旨等)	別紙のとおり
提 出 資 料	資料は、情報公開コーナー、図書館、議会図書室にある議事録に添付してあります。
そ の 他	

平成21年度第2回 小金井市地下水保全会議

議事録

日 時：平成21年11月27日（金）15：00～17：00

会 場：旧消防署暫定第八会議室

■ 出席者

(委員)	小倉 紀雄	会長	土屋 十圀	委員
	齊藤 祐磁	委員		
(欠席)	山田 啓一	副会長	風間 ふたば	委員
(事務局)	環境政策課	石原課長	環境係	立川主任
	環境係	吉崎副主査	環境係	板本
(傍聴者)	3名			

■ 会議次第

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 前回の会議録の確認について（資料1）
 - (2) ボーリング調査データについて（資料2）
 - (3) 水質監視測定及び湧水調査について（資料3）
 - (4) その他
- 3 次回の地下水保全会議の日程について
- 4 現地視察（仮称）中町4丁目緑地

■ 審議経過（議事録）

- 1 開会

小 倉 会 長： それでは、平成21年度第2回小金井市地下水保全会議を開催します。

- 2 議題

- (1) 前回の会議録の確認について

小 倉 会 長： まず、前回の会議録の確認ですが、何か訂正等ありましたら、来週中に事務局まで連絡してください。特に問題が無ければ、承認ということとします。

- (2) ボーリング調査データについて

小 倉 会 長： 次にまいります。事務局からお願いします。

石原課長： 前回の地下水保全会議で、参考に出させていただいた場所と同じ場所ですが、より詳細な形で提出されましたので今回お配りしました。

前回、ご意見いただいた地盤改良の件ですが、確認しましたところ、「テノコラム工法」という工法だそうです。地盤改良の目的としては、軟弱地盤を強固なものにするということで行うということでした。

それから、べた基礎の下にさらに杭が入るのではないかとのご指摘がありましたが、べた基礎のみということでした。

小倉会長： ありがとうございます。

前回示していただいたものの補足ということですが、杭は打たないということですね。だから、表層のやわらかい所は地盤改良をするということですね。

石原課長： はい。6.5メートル程度まで、地盤改良するということでした。

杭のような、1メートル幅くらいの筒状のものを600本程度入れて、その上に、べた基礎で建築するというものだそうです。

小倉会長： 最後のページに観測井戸の水位があって、マイナス1.3から1.1メートルくらいですから、かかりませんね。

土屋委員： べた基礎は、密に打ち込まれて隙間は無いのでしょうか。

石原課長： 建物が建つところ全面に配置されるような状況のようです。

小倉会長： 当然、屋根の雨は地下浸透ということですね。

石原課長： はい、そうです。下水道課のほうで指導します。

小倉会長： ちょうど交差点の角のところですね。

土屋委員： そうですね。少し低くなっていますね。

小倉会長： 地盤が軟弱になっているのですね。

土屋委員： これを見ると、改良するのはローム層の部分ですね。この下は地下水源があるので、やらないのですね。ローム層はN値が極端に低いですね。

小倉会長： 今は、改良剤の水質への影響というのは、あまりないのでしょうか。シリコン系ですか。

土屋委員： よくわかりませんね。

円柱の杭のようなところに、何か入れるのではないですか。どんな材料が入るのかわかりますか。

石原課長： テノコラム工法自体の業者のPRなのですが、「セメント及びセメント系固化剤を使用した改良土であれば流出しません。」とか、地盤改良による環境面への影響に関して、「植生試験を実施し、固化剤の環境への無害性、安全性を確認しました。」ということが書かれています。

小倉会長： セメントということですね。

土屋委員： はい、わかりました。

(3) 水質監視測定及び湧水調査について

小倉会長： それでは次に入ります。

事務局から説明をお願いします。

吉崎 副主査： 資料3について説明を行った。(説明内容省略)

小倉 会長： ありがとうございます。
調査した所は3か所で、貫井神社と滄浪泉園と美術の森緑地ですね。

土屋 委員： 貫井神社は今まではやっていませんでしたか。

吉崎 副主査： 今までは、水質測定という形でやっていましたが、今回からは湧水の水質測定と水生生物の調査という形で行いました。

土屋 委員： 美術の森緑地というのは、どこのことですか。

吉崎 副主査： 以前は中村研一美術館といわれていたところですよ。

土屋 委員： そうですか。

小倉 会長： 今は、透視度は50センチメートルでやっているのですね。よく市民がやっているクリーンメジャーみたいなものでも130センチメートルくらいまでは見えるでしょうね。濁りがほとんどないですからね。

立川 主任： はい。滄浪泉園は、クリーン作戦の中で測っていますが、小倉会長のおっしゃるとおりですね。

小倉 会長： 硝酸性窒素も、トリクロロエチレンも基準値以下ですから、問題ないようですね。

齊藤 委員： 貫井神社には、この水は飲めませんという表示がありますが、あれは、飲み水としての検査をしていないということですか。

立川 主任： そうですね。飲用という形の検査はしていませんので、表示してあるのだと思います。

石原 課長： 滄浪泉園にも書いてあるところがあったと思いますが、あのような美しい風景の所に出ている水だと、飲めると思って汲みに来る人がいるので、これは保証されていないということで表示があるのだと思います。

齊藤 委員： あの表示が美しくないですよ。ね。
湧水としての水のきれいさと、通常の飲用が出来る水ということでは話しが別なのですがね。
あのようなところでは、取り方によっては土壌由来の大腸菌が出る場合があって、そういうことから飲める飲めないの議論がありましたが、湧水のきれいなどころに、飲めませんというのはどうなのでしょう。
テトラクロロエチレンが出ていた時期があったのでしょうか。

石原 課長： 湧水では、出たことはありません。

土屋 委員： 流量データは三角堰で測っているのですか。

吉崎 副主査： いえ、違う方法です。

土屋 委員： もう、三角堰はついていませんか。

吉崎 副主査： 滄浪泉園と美術の森緑地にはついていますが、測る場所も若干違いますので、流量計を使って行っています。

土屋 委員： 三角堰は置いてありますか。

吉崎 副主査： はい、置いてあります。

土屋 委員： どこで測っているのですか。

吉崎 副主査： 美術の森緑地については、はけの道の道路に近いところの水路で、流量

計と断面を測る方法で行っています。滄浪泉園についても、同じように出口に近い所で断面が測れるところで行っています。

土屋 委員： 法面のところでは違ってきてしまいますか。

吉崎 副主査： 他のところからのものも混ざるので、出口のところのほうが多いかもしれません。

立川 主任： 西側の竹の筒のところがあって、そこから出ているかどうかはわからないのですが、一緒に合わせた量を測っているということです。

土屋 委員： そうですか。
水温が少し高めですね。

立川 主任： 滄浪泉園では、毎日計っていただいているのですが、データの的には、15度から16度に上がったというデータがあります。ここの17度というのは、少し高いという気はしますが、湧いているところに差し込めば、15から16度くらいだと思います。

小倉 会長： 美術の森緑地は、硝酸性窒素が少し高いですね。なかなか下がらないのでしょうか。

土屋 委員： 15～16年前くらいに調査したことがありますが、北西の方向の連雀通りをこえたところの井戸と、レベルがだいたい同じでしたね。

立川 主任： 雨が浸み込むのが速いから、値が高くなるのですか。

土屋 委員： 流れからすると、そちらの方向から来ているので、同じような値なのではないかという気がしているのですが。

小倉 会長： 昔の雑排水の影響がまだあるのでしょうか。国分寺の真姿の池なども影響がありましたが、少しずつ少なくなってきています。

こういった基礎データの蓄積は大事なので、続けていってください。

齊藤 委員： 今後、ほたる池はやりだす予定はありますか。

石原 課長： 立ち入り禁止区域になっていますので、湧き出し口から、かなり遠いところでないと測れないのです。

土屋 委員： 東京都では、湧水はやっていませんか。

齊藤 委員： はい。湧水はやっていません。

ほたる池はどこもやっていないので、そこか、もしくはもう少し野川の下流の辺りを測定できればいいのかという気がします。

土屋 委員： 市の区域は市でしか出来ないなので、大事なところは続けてほしいなと思います。

齊藤 委員： 先ほどの硝酸性窒素の話ですが、今年の東京都の水収支決算の中で、多摩地区は下水道由来の漏水がプラスになっていました。

出るスピードとしては、湧水が一番速いですね。

小倉 会長： そうですね、下水道の漏水もありうるのですね。

(4) その他

小倉 会長： では、その他ということですが、事務局から何かありますか。

石原 課長： はい。道路管理課のほうで作った「小金井の坂と遊歩道マップ」という

ものを配布させていただきました。湧水沿いのせせらぎみたいなものも入っていますので、参考にしていただければと思います。

齊藤委員： どうしても行政域で切れてしまっているのが、崖線沿いなどは、国分寺のほうまであればいいなと思いますね。

石原課長： 市民の方からもそういった要望はあります。

小倉会長： 他に何かありますか。

立川主任： 報告ですが、下水道課からの資料で、三鷹から国分寺までの中央線高架のところに、120ミリ対応の雨水貯留浸透ボックスを設置しまして、雨を下水道に流さず、地下に浸透させるということでした。

浸透した雨はどちらの方向に流れていくのかわからないのですが、崖線のほうに流れていきますか。

土屋委員： 中央線のものは、基本的に崖線のほうに流れると思います。南東の方向だと思います。

中央線だと幅がありますが、一か所に集めるのですか。

立川主任： 線路沿いにずっと連なっている形です。駅舎の部分は別にありますので、それ以外のところは全部ということです。

齊藤委員： 今回、この地区でやるのが初めてですか。たとえば、都心の方の高架の部分はどうなっているのでしょうか。

立川主任： そこまでは聞いていないのでわかりません。

齊藤委員： あまり気にしていなかったのでしょうかね。

小倉会長： いままでは、やっていなかったのでしょうか。

立川主任： 中央線沿いに下水管のラインが無いということもあると思います。

土屋委員： 施工は見ましたか。

立川主任： これからになるようです。

小倉会長： おもしろい試みですね。浸透されればいいことだと思います。

他にはありますか。

石原課長： まだ、図面などは揃っていませんが、来年度に本町小学校の校庭の芝生化を予定しています。第二小学校のときのように、散水のための井戸の掘削を考えているそうです。図面などはこれからになりますので、詳細がわかりしだい情報提供させていただきたいと思います。

小倉会長： はい、わかりました。

3 次回の地下水保全会議の日程について

小倉会長： では、次回の日程ということですが、いつ頃になりますか。

石原課長： 2月中でお願いできればと思います。

小倉会長： 今日と同じように、金曜日の午後がいいですか。第一か第二の金曜日できめますか。

土屋委員： 都合としては、10日以降がいいですね。

小倉会長： 12日くらいでよろしいですか。第二候補で26日におきましようか。あとは、風間先生のご都合も聞いていただいて、調整をお願いします。

石原課長： はい、わかりました。

小倉会長： よろしくお願ひします。

それでは、この後は現地視察になりますので、会議はここで閉会とします。

4 現地視察

(仮称) 中町4丁目緑地の視察を行った。